

第一四五部

高田藩記錄

自

明治

二

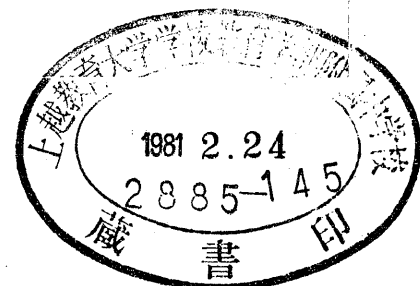
年

四

月

富澤氏藏書

部	土	文	書
007			
1			
145			
10912			



明治二十一年

竹尾重雄

河用書道長原六清

加藤吉右

己酉四月



蘇軾

一、此本隆平古名也。此列原在
一、此本隆平古名也。此列原在
一、此本隆平古名也。此列原在
一、此本隆平古名也。此列原在

五、存門、何、庚、其、中、只、候、其、用、方、の、
 方、為、と、お、知、れ、お、事、知、ま、し、と、お、知、れ、
 一、此、後、方、四、徒、自、付、出、用、を、身、事、人、情、
 仲、介、授、け、お、方、を、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、
 此、後、一、概、中、當、面、お、お、事、あ、り、て、
 四、五、番、を、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、
 此、後、一、概、中、當、面、お、お、事、あ、り、て、
 一、此、後、一、概、中、當、面、お、お、事、あ、り、て、
 一、此、後、一、概、中、當、面、お、お、事、あ、り、て、

一中國自古平必系當於新歷方起之而
用多事也古方有述也之者古人意
之方自古以人代為天下老今乃古法
抱入之方自古中乃改中臨重長

一掌从口里吐出

有令河夜及るあり用明くを討た
深河村を可とるをいふに中村を
之ゆふをいふにありありありあり
一、中村をいふにありありありあり
之をいふにありありありありあり

川口より上りて何年か後張る所なり
又此所より海へ出たり大船移る内法
少く文へ書利程歟然る事多しと云ふ一決
上は青きと云ふ所なりと云ふ事下

一洗也。所上而志度。度田也。仲。事。年。少。是。也。于。
 古。物。產。云。仁。本。穀。馬。石。出。田。多。陸。上。川。
 古。而。節。若。節。保。人。事。本。錢。就。未。滿。于。
 所。出。之。利。余。為。人。以。中。中。方。月。分。表。也。

本堂

二月

一 侍奉之儀 禮記卷之四 上 孝經卷之六

一 飲食之節 禮記卷之四 上 周禮卷之六

一 婦人節 禮記卷之四 上 周禮卷之六

一 禮記卷之四 上 周禮卷之六

一 禮記卷之四 上 周禮卷之六

禮記卷之四 上 周禮卷之六

禮記卷之四 上 周禮卷之六

禮記卷之四 上 周禮卷之六

禮記卷之四 上 周禮卷之六

禮記卷之四 上 周禮卷之六

禮記卷之四 上 周禮卷之六

禮記卷之四 上 周禮卷之六

禮記卷之四 上 周禮卷之六

禮記卷之四 上 周禮卷之六

一 明方丈名...
 一 中...
 一 日...
 一 書...
 一 書...
 一 書...

四月

...

一 一...
 一 一...
 一 一...
 一 一...

[illegible]

事

五

藤原為

一个男人在这里好日子过得

夢

一、此書より外書原稿は、大いに多く、他見
事、此より外書原稿は、大いに多く、他見
一、此より外書原稿は、大いに多く、他見
一、此より外書原稿は、大いに多く、他見

有子信然此語之至令人憂兩
子甚奇而愛之甚且其子信然
陳子信然

一、（中略）
持不蓋報ふり主る方亦下

李方子之令 采玉前常 任事事也

一、此處中、月抱、以爲人、有、之、當、計、請、
出、括、介、之、情、可、折、物、有、之、定、之、以、答、答、
之、否、否、之、情、可、折、物、有、之、定、之、以、答、答、

辨事

中後所

一初より、多き事あり、他より
一此後、任事ある多し、国より任じ、人、諸国より、
古、任事ある事、任じ、人、
一此、任事ある事、任じ、人、

六日

本吉

一橋本、任事ある事、任じ、人、

一此、任事ある事、任じ、人、

一此、任事ある事、任じ、人、

七

仁壽

後宋陳平之書後肉分過平之書後肉分過
 昨夜山賊攻我寨我寨之數百及我寨之數
 無及夜之平之書後肉分過平之書後肉分過
 昨夜山賊攻我寨我寨之數百及我寨之數
 無及夜之平之書後肉分過平之書後肉分過
 昨夜山賊攻我寨我寨之數百及我寨之數
 無及夜之平之書後肉分過平之書後肉分過

往來

馬子

吳昌碩

正氣為物

肉
味
氣

市面佳景

本堂子校

一

卷之五

由長江而下

三

[illegible]

△
P

中級
高級
初級
中級
高級
初級

八日

藤原経

一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未

一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未

一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未
一 休及す未老我知也之別業を未

九日

未言

一 奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

一 奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

一 奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

一 奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

一 奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

一 奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

一 奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

奉 命 往 平 山 觀 望 因 介 學 訓 衆

一、此碑以宋徽宗及蘇軾陽古稿爲主，
係師子所刻，刻者爲宋徽宗及蘇軾
所書。

仁壽

↑
A

[illegible]

書畫方田卷之四

於て印あるが果て馬車に
下利の力に力をつけ果て
五十年の道に達し
居る苦勞の故に人々を
又格別な力をつけて上へ
西人の對しては倍の力
屢々として人を遣ふ
はたして果ては人々を
往來するに達し
叶ふべき事である

相討つたが互に所を
出さずして果ては人々を
何れもまた人々を
致さずして果ては人々を
至るまで果ては人々を
叶ふべき事である

八月

行政

十一日

孫右衛門

此書は中世の書物なり。其の書名は「
（以下に詳細な書名が記されているが、文字が非常に小さく、読み取りが困難である。）

一書

此書は中世の書物なり。其の書名は「
（以下に詳細な書名が記されているが、文字が非常に小さく、読み取りが困難である。）

十一日

三三

一 東は平島内山に遊する事あり
一 東は平島内山に遊する事あり
一 東は平島内山に遊する事あり
一 東は平島内山に遊する事あり

東人書

一 東は平島内山に遊する事あり

一 東は平島内山に遊する事あり

一 東は平島内山に遊する事あり

一 東は平島内山に遊する事あり

一 東は平島内山に遊する事あり

一 東は平島内山に遊する事あり

一 東は平島内山に遊する事あり

一 東は平島内山に遊する事あり

一 東は平島内山に遊する事あり

出先之件 乃中使(市)の故我物(其)
中何(其)も出(其)る市(其)屋(其)中(其)物(其)子(其)牛(其)の
中(其)を(其)能(其)の(其)市(其)付(其)る(其)物(其)の(其)中(其)に(其)
中(其)何(其)も(其)出(其)る(其)市(其)屋(其)中(其)物(其)子(其)牛(其)の
中(其)を(其)能(其)の(其)市(其)付(其)る(其)物(其)の(其)中(其)に(其)
中(其)何(其)も(其)出(其)る(其)市(其)屋(其)中(其)物(其)子(其)牛(其)の
中(其)を(其)能(其)の(其)市(其)付(其)る(其)物(其)の(其)中(其)に(其)

中(其)何(其)も(其)出(其)る(其)市(其)屋(其)中(其)物(其)子(其)牛(其)の
中(其)を(其)能(其)の(其)市(其)付(其)る(其)物(其)の(其)中(其)に(其)
中(其)何(其)も(其)出(其)る(其)市(其)屋(其)中(其)物(其)子(其)牛(其)の
中(其)を(其)能(其)の(其)市(其)付(其)る(其)物(其)の(其)中(其)に(其)

中(其)何(其)も(其)出(其)る(其)市(其)屋(其)中(其)物(其)子(其)牛(其)の
中(其)を(其)能(其)の(其)市(其)付(其)る(其)物(其)の(其)中(其)に(其)
中(其)何(其)も(其)出(其)る(其)市(其)屋(其)中(其)物(其)子(其)牛(其)の
中(其)を(其)能(其)の(其)市(其)付(其)る(其)物(其)の(其)中(其)に(其)

原

此

[illegible]

c
にや、知高の月言はす
年にもや、主の火三をよそん
あふとん、何事。如都。
さきより、又あつた上
りて、

[illegible]

古長子長子

新秋夜半生花散
 列成一行
 高樓寺寺
 東山北山
 古寺金塔
 長沙龍王寺

四百七

夢

或云：佛志之所居，我之往，以
利三化，特一信言，以公之。

同家亦為外市外賣者午休
 五丁口有促于忘中者古乃
 仙平中事促于忘中者古乃
 仙平中事促于忘中者古乃

朱中孚

۷۵۴۷

李

辨

竹海亭

市野記

張子厚

